一般選抜の概要

本選抜では、本学で専門教育や実践教育を受けるための基礎学力を公正に評価しており、科目試験（英語,数学,国語,物理,化学,生物,公共）では、基本的な知識・理解力および論理的思考力を問います。また、選択科目を設けることにより、受験者が自身の得意分野を活かし、学科・専攻の専門的学修への適性や興味を把握しています。さらに、一般選抜（手続期間長期型）では特色加点制度を導入しており、高校時代の課外活動や主体的な学習経験など、科目試験のみでは測れない人物像・意欲についても評価することで、学力と人間性・社会性を併せて評価しています。

■各科目の出題の意図

出題科目	出題意図
英語	本科目は、高校教育で習得すべき英語の知識と技能の定着度、およびそれらを活用した総合的な英語力を評価することを目的としています。大問 I・II の長文読解では、様々なトピックの英文から情報を正確に把握し、論旨を理解する読解力を測ります。また、大問 III～V では、文法や会話表現など、言語知識の理解度を問います。加えて、大問 VI の整序英作文では、知識を適切に組み合わせて正確な英文を構成する応用力を測定する設問構成としています。
数学Ⅰ,数学 A	本科目は、問題文を読み解く力、定理や解法などの知識、解に到達するまでの道筋を論理的に考える力や計算力など、基本的な知識や力を問うように出題しています。また、出題範囲の各分野ごとの問題だけではなく、複合問題に対処できるような応用力を問うこともあります。そのため、出題範囲の各分野から偏りなく出題するようにしています。さらに、マークセンス方式に合わせた出題に対応できる柔軟性も必要としています。
数学Ⅰ,数学 A, 数学Ⅱ,数学 B	本科目は、問題文を読み解く力、定理や解法などの知識、解に到達するまでの道筋を論理的に考える力や計算力など、基本的な知識や力を問うように出題しています。また、出題範囲の各分野ごとの問題だけではなく、複合問題に対処できるような応用力を問うこともあります。そのため、出題範囲の各分野から偏りなく出題するようにしています。さらに、マークセンス方式に合わせた出題に対応できる柔軟性も必要としています。
国語	本科目は、国語に関する基本的な知識と、文章を正確に読み取る力、物事を論理的に考える力を測ることを目的としています。Ⅰでは論理的な文章を、Ⅱでは文学的な文章を題材とし、いずれも近代以降の作品を用います。漢字や接続語などの基本的な知識を身につけているか、文脈を踏まえて、Ⅰでは論旨を、Ⅱでは人物の心情を適切に理解しているかを問うことを重視して出題します。
物理基礎・物理	本科目は、受験者が自然現象に関して正しく物理的な考え方で理解できるかを問うことを目的としています。特に、教科書で学ぶ物理法則を単に式だけの理解ではなく、式の内容を正しく理解しているかを判断するために基礎的な問題だけではなく応用力を問う設問構成としています。
化学基礎・化学	本科目は、高等学校における化学基礎および化学の学習内容を総合的に理解し、物質の構成や化学変化の本質を論理的に考察する力を評価することを目的としています。物質の分類、結合、反応式、化学量計算、酸塩基・酸化還元反応、溶液、気体、熱化学、化学平衡など、基礎から応用にわたる知識と理解を問うとともに、実験操作やデータの扱いを通して、科学的思考力、判断力を測定します。

生物基礎・生物	本科目は、高校で学習する生物の基礎知識を問うことを基本的な目的としています。また、図や表に示された（実験）結果を正しく分析して結論を導く科学的思考力や、複数分野（遺伝・代謝・生態など）の知識を統合して考える力についても問います。これにより、大学での学問探究や科学的問題解決に必要な基礎的素養が身についているかを確認します。
公共	市民に必要とされる政治・経済・社会・福祉に関する基礎知識を確認するとともに国際社会・日本社会・地域社会について広い視野を持ち、現代社会の諸問題について積極的に学ぶ姿勢を問う内容を意図しました。